

事務事業名	40486 緑化事務費													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	みどり環境担当		
組織コード	R2	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	08	04	07	01	01	記入日	令和 2年 6月23日
	R1	15	06	00		R1	01	08	04	07	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	04 緑と潤いのあるまち	○ 対象 ● 対象外
分野	01 緑地・緑化	
施策	38 潤いのある緑地空間の創造	
事業期間		
根拠法令 通達等	関連計画 施政方針	
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象		
事業目的	予算管理シート	
事業内容	予算管理シート	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 (      )	

2. 実施結果

		令和元年度 執行額 (千円)	令和2年度 予算額 (千円)	令和3年度 計画額 (千円)	令和4年度 計画額 (千円)	令和5年度 計画額 (千円)	
事業の 予算・ 実績	事業内容						
	事業費	12,959	14,039	10,315	14,039	14,039	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	4	4	4	4
		一般財源	12,959	14,035	10,311	14,035	14,035
	人件費	3,287.04	3,287.04	3,287.04	3,287.04	3,287.04	
	投入 人員	常勤職員	0.48人	0.48人	0.48人	0.48人	0.48人
		非常勤職員	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
事業費+人件費		16,246	17,326	13,602	17,326	17,326	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①						-
	活動②						-
	成果①						-
	成果②						-
目標達成 状況 の分析	- : 未設定 <判断理由>						

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

## 4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 事務に必要な事業であるため、現状で継続する。
今後の取組方針	

事務事業名	7585 緑化推進事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	みどり環境担当		
組織コード	R2	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	08	04	07	01	02	記入日	令和 2年 6月23日
	R1	15	06	00		R1	01	08	04	07	01	02		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	04 緑と潤いのあるまち	○ 対象 ● 対象外
分野	01 緑地・緑化	
施策	38 潤いのある緑地空間の創造	
事業期間	昭和54年度～令和5年度	
根拠法令 通達等	戸田市緑化推進条例、緑化推進に関する規則 戸田市緑化推進補助金交付規程 戸田市建築物屋上等緑化奨励補助金交付要綱 戸田市生け垣等設置奨励補助金交付要綱	関連計画 施政方針 戸田市緑の基本計画
事業区分	○ 法定受託事務      ○ 自治事務のうち義務的なもの      ● 自治事務のうち任意のもの	
対象	戸田市で保存樹木を所有している者、生け垣・屋上緑化等を設置する者。	
事業目的	良好な自然と生活環境を確保するため、樹木の保全とあわせて緑化を推進し、緑あふれる住み良いまちづくりを図る。	
事業内容	苗木の配布や緑化に関する補助金の交付を実施するほか、緑化を推進する計画の策定や遂行を図る。	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 (      )	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)
	事業費		5,723	16,290	7,073	7,586	7,586
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		5,723	16,290	7,073	7,586	7,586
	人件費		5,409.92	5,409.92	5,409.92	5,409.92	5,409.92
	投入 人員	常勤職員	0.79人	0.79人	0.79人	0.79人	0.79人
		非常勤職員	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
事業費+人件費		11,133	21,700	12,483	12,996	12,996	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①	保存樹木補助金交付件数	件	指定された保存樹木に対して交付した補助件数	148	144	143
	活動②	補助金制度PR紙配布回数	回	町会回覧・広報掲載回数	144	143	-
	成果①	屋上緑化等補助金交付件数	件	屋上緑化等の補助件数	1	1	1
	成果②	生け垣等補助金交付件数	件	生け垣等の補助件数	1	1	-
					3	3	3
目標達成状況の分析		B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> PR用チラシの町会回覧やホームページに掲載することにより、周知を行った。保存樹木は、伐採や改築による解除が4件あったが、3件の新規申請があった為、若干の減に留まった。					

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<p>&lt;判断理由&gt;</p> <p>市街化が進み大きな緑地が確保しにくい状況において、既存の樹木、生け垣や樹林等を保存し緑の減少を防ぐことや、緑化の普及啓発を図ることにより新たな緑を増やす取り組みは、緑化に貢献しているものとする。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<p>&lt;判断理由&gt;</p> <p>屋上緑化や生垣の設置に多額の費用がかかるため、緑化のための補助金は妥当な費用と考える。保存樹木に指定されているものは高木が多く、管理に多額の費用が掛かるため、最低限の支援として適正な補助額と考える。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<p>&lt;判断理由&gt;</p> <p>緑地の確保は行政だけでなく市民と協力して実施すべきものであるが、個人による緑地の保全が経済面で大きな負担となっている。そのため、市民の負担を軽減するために補助金を支給することにより、緑化を推進し緑を保全することは適正な事業手法と考える。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<p>&lt;判断理由&gt;</p> <p>補助金額は樹木の本数や面積等に応じている。保全される緑や、新たに設置される緑は環境の向上につながり、広く市民の利益に貢献するものであることから、公平性が保たれていると考える。</p>

## 4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<p>&lt;判断理由&gt;</p> <p>樹木等の保全には市民の理解が不可欠であることから、屋上緑化や生け垣補助の制度を広く市民が知ることにより制度活用が普及すれば、今後もより多くの緑を市内に残すことや、新しい緑を創出することが継続的に可能となる。そのため、緑の大切さについて啓発は継続していく必要がある。</p>
今後の取組方針	<p>新たな指定樹木に該当する可能性が高い場合、所有者に対して指定の手続きをしてもらえよう積極的に周知していく。</p> <p>屋上緑化、生け垣補助については、手続き方法の分かりやすさや申請のしやすさなど、制度の運用を図っていく。</p>

事務事業名	27263 水と緑のネットワーク推進事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	みどり環境担当		
組織コード	R2	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	08	04	07	01	03	記入日	令和 2年 6月23日
	R1	15	06	00		R1	01	08	04	07	01	03		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち										● 対象  ○ 対象外	
分野	01	緑地・緑化											
施策	38	潤いのある緑地空間の創造											
事業期間	平成19年度～令和5年度												
根拠法令 通達等	環境共生・創造マスタープラン					関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画、戸田市緑の基本計画、水と緑のネットワーク形成プロジェクト（戸田市地区）基本構想、戸田ヶ原自然再生事業全体構想						
事業区分	○ 法定受託事務      ○ 自治事務のうち義務的なもの      ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民、事業者												
事業目的	自然と共生するまちづくりを市民など多様な主体とともに推進することを目的とする。												
事業内容	「戸田ヶ原」の自然再生等事業を関係団体等と連携し、水と緑のネットワーク形成プロジェクトの一環として推進する。												
実施主体	■ 市による単独直営      ■ 委託      ( ■ 3セク・財団      ■ 企業      □ 市民・NPO )      ■ 協働・協力 ( 企業市民NPO )												

2. 実施結果

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業内容	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成
事業費	9,243	8,178	6,990	8,178	8,178
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他	0	3	3	3
	一般財源	9,243	8,175	6,987	8,175
人件費	5,820.8	5,820.8	5,820.8	5,820.8	5,820.8
投入人員	常勤職員	0.85人	0.85人	0.85人	0.85人
	非常勤職員	0.03人	0.03人	0.03人	0.03人
事業費+人件費	15,064	13,999	12,811	13,999	13,999

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H30目標	R1目標	R2目標
				H30実績	R1実績	R2実績
活動①	業務委託契約件数	件	業務委託の契約件数	1	1	1
	活動②	日	戸田ヶ原自然再生連絡会議の開催日数	1	1	-
成果①	業務委託執行率	%	業務委託の契約執行率	2	2	2
	成果②	人	市主催イベント全て(花見イベ等)管理作業除く	2	2	-
				100	100	100
				100	100	-
				700	700	700
				708	694	-

目標達成状況の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 戸田ヶ原イベント開催参加者数は、「さくらそう祭り」を含め約700名の参加があった。また戸田ヶ原自然再生連絡会議は年2回を開催した。今後、更に戸田ヶ原自然再生事業の認知度を高め、市民の誇りとなる取り組みとするため、参加者に積極的に働きかけ、より主体的に参画してもらえよう努めたい。					
-----------	---	--	--	--	--	--

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 点在する水辺や緑地をネットワーク化することにより市内に生き物呼び込むことが可能となるので、国や県等と連携しながら自然と共生するまちを実現する。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：経費の精査が十分になされている。
	B	B	A	<判断理由> 既存事業の活用やボランティア、他の事業者と協力することにより、限られた予算の範囲内で成果を出しており、適正と考える。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 水と緑のネットワーク形成プロジェクト（戸田市地区）行動計画をもとに、市民や事業者の協力を得ながら進めており、事業手法は効率的、効果的であると考えられる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 自然と共生するまちづくりは広く市民の利益に資するものであり、施策の内容は公平性が保たれていると考える。

## 4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 戸田ヶ原自然再生事業は市民や事業者と協働して管理を行い着実に進んでいる。市街地での水と緑のネットワーク形成については、今後も目的達成のため継続する。
今後の取組方針	戸田ヶ原自然再生事業で培った取り組みを活かし、市民や事業者へ水と緑のネットワークに資する活動の啓発を行うとともに、引き続き支援協力を行い事業を推進していく。